

<進捗管理シートA>

第2期 大河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和2～6年度施策に係る評価

< 基本目標2 : 安全・安心のまちづくり～毎日安心が実感できるまち～ >

基本的な方向性：日々の暮らしの安全確保と生命を守る取り組み

災害時はもとより、日々の基本的な安全確保と生命（いのち）を守る取り組みが、暮らしの安心の実感とまちの魅力に結びつくことを目指します。

(事業費はR2～6の実績額：千円)

総合戦略の施策とその方向	令和2～6年度実施内容に対する評価	事業費	担当課
施策(1):交通安全対策と地域の見守りによる防犯対策の強化 方向:安全・安心にかかる施策や地域の見守り体制強化に関する取り組みを、優先的に実施する。	※交通安全事業 【令和2～6年度】 交通安全の推進として、通学路内の危険箇所へ交通安全指導員の配置、通学路等への注意喚起表示の設置、運転免許返納者に対する支援等各種交通安全運動啓発活動等を実施した。 コロナ禍により、総会や定例会は書面開催等としたものの、交通安全イベントや自転車教室は通常どおり開催し、交通事故の減少及び啓発に取り組んだ。 また自転車ヘルメット購入補助金事業を開始し、自転車乗車中の交通事故の抑制を図るとともに、運転免許返納事業も継続して行い、高齢ドライバーによる悲惨な事故防止に努めた。	R2年度 20,379 R3年度 20,729 R4年度 21,044 R5年度 23,616 R6年度 21,812	総務課
	※防犯事業 【令和2～6年度】 防犯対策の推進として、防犯指導員による定期パトロール、「ながら見守り隊」による地域の目を通して、地域の防犯力強化に努めた。また、盗難や通学路、隧道等の犯罪が起りやすい場所を中心に防犯カメラを合計8台設置した。さらに、警察・民生委員と合同して行った高齢者宅訪問事業において、特殊詐欺対策電話装置等購入補助事業の説明を行い、特殊詐欺被害の未然防止に努める一方、「大河原町犯罪被害者等支援条例」を制定し、犯罪被害者等が受けた被害の軽減及び回復を図り、安全で安心して暮らすことができる地域社会の実現に努めた。	R2年度 3,234 R3年度 3,599 R4年度 4,628 R5年度 4,117 R6年度 4,199	

	※交通安全施設維持管理事業 【令和２～６年度】 「大河原町通学路等安全対策会議」等で対策が必要とされた箇所について、通学路交通安全プログラムに基づき計画的に対策を講じた。 道路防護柵補修延長 2,390m 自転車通行帯設置延長 247m 道路区画線標示工事L=8,800m 歩道舗装打換工事 L=781m	R 2 年度 28,633 R 3 年度 41,124 R 4 年度 4,646 R 5 年度 11,635 R 6 年度 14,720	地域整備課
施策(2)：環境の保全と共生、空き家対策の推進 方向：各家庭や事業所での廃棄物削減やリサイクル、再生可能エネルギーの活用など身近な環境負荷の抑制を通じ、地球温暖化対策に取り組む。 環境にさまざまな悪影響を及ぼす特定空き家への研究を深め、適切な対応を図るとともに、利活用が可能な空き家等については、不動産業者等と連携し、その有効活用を促進する。	※環境保全対策事業 【令和２～６年度】 環境保全対策として、分別収集や、ごみの減量化、３Ｒ（リデュース、リユース、リサイクル）運動の推進のため、リサイクルステーション（町内５か所）を運営。新型コロナウイルス感染症の影響により、町内一斉清掃が中止となった時期があったが、春・秋２回実施し、まちの環境保全に努めた。 ※環境政策推進事業 【令和２～６年度】 再生可能エネルギー等の普及・促進のため、町独自の補助「スマートハウス補助金」を交付。R 2 :45 件、R 3 :64 件、R 4 :67 件、R 5 :80 件、R 6 :28 件 また電気式生ごみ処理機への補助金を交付。 R 2 : 7 件、R 3 : 3 件、R 4 : 5 件、R 5 : 5 件、R 6 : 3 件 ※空き家対策事業 【令和２～６年度】 空き家調査を実施。空き家の適正管理について、所有者等への通知を行った。 空き家 R 2 :144 件、R 3 :159 件、R 4 :173 件、R 5 :177 件、R 6 :156 件 大河原町空き家等対策計画の見直しを行い、第２次大河原町空き家等対策計画を策定。	R 2 年度 4,264 R 3 年度 4,042 R 4 年度 4,244 R 5 年度 4,740 R 6 年度 3,398 R 2 年度 9,891 R 3 年度 8,372 R 4 年度 8,552 R 5 年度 9,547 R 6 年度 7,773 R 2 年度 175 R 3 年度 175 R 4 年度 126 R 5 年度 108 R 6 年度 0	町民生活課
施策(3)：自主防災組織等、地域における備えの充実	※消防団運営事業 【令和２～６年度】 日々の警戒活動や春季・秋季の火災予防運動をはじめとした予防消防に注力した。	R 2 年度 26,637 R 3 年度 25,717 R 4 年度 24,913	総務課

方向：自主防災組織が未結成の行政区での組織結成を目指すとともに、防災訓練等の活動を積極的に支援し、防災意識の高揚と災害時の地域の共助体制づくりに努める。	新型コロナウイルス感染症予防の観点から消防演習の中止があったが、有事の際の出動に備えた機械器具等の点検・整備に努めた。令和５年度から消防演習を再開し、団員の士気高揚を図った。	R 5 年度	27, 812	
		R 6 年度	27, 122	
	※水防対策事業 【令和２～６年度】 水防対策用ゴムボート、土のう製作器及び作業灯並びに各種水防資材を購入し、降雨時の対応力の強化を行った。	R 2 年度	814	
		R 3 年度	369	
		R 4 年度	282	
		R 5 年度	174	
		R 6 年度	324	
	※自主防災組織支援事業 【令和２～６年度】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で防災訓練の中止があったが、令和４年度から訓練を再開した。内容もこれまでの地震想定ではなく、水害を想定した防災訓練を実施している。 また、自主防災組織の資機材整備補助等運営支援、自主防災組織未結成行政区への働きかけ、防災士資格取得補助及び県防災指導員養成講習会開催を進め、地域防災力の向上に努めた。令和５年度からは自主防災組織資機材整備の補助上限額を増額し、各行政区の需要に応じた備蓄をできるようにした。 防災士資格取得補助 R 2：６件、R 3：６件、R 4：８件、R 5：７件、R 6：６件	R 2 年度	503	
		R 3 年度	366	
		R 4 年度	388	
		R 5 年度	537	
		R 6 年度	589	
施策(4)：台風 19 号の経験を活かした防災・減災対策	※水防対策事業 【令和２～６年度】 浸水対策として、避難の駐車場確保、民間事業所との協定を結び、短期的な避難の対応を図った。道路冠水等の発生が懸念される地域に土のうステーションを設置し、地区住民が自由に土のうを使用できるよう体制整備に努めた。区域の浸水を見える化を含めた防災マップを配布し、水防意識の高揚につなげた。	R 2 年度	380	総務課
方向：想定外の降雨による洪水や冠水対策等、防災・減災インフラのさらなる整備、維持管理を図る。 雨水排水路整備事業を重点化し、冠水地域の解消を図る。		R 3 年度	369	
		R 4 年度	282	
		R 5 年度	174	
		R 6 年度	324	
	※消防施設維持管理事業 【令和２～６年度】 各地区の防災資機材倉庫の修繕、維持管理を進め、災害時の体制づくりに努めた。	R 2 年度	6, 380	
		R 3 年度	934	
		R 4 年度	986	

る。	※災害対策非常配備関係事業 【令和２～６年度】 改訂後の地域防災計画を配布し、災害時対応の共通認識を高めた。令和５年度には災害時職員活動マニュアルを配布し、災害時の対応力の向上を図った。また、防災行政無線等備品のメンテナンスに留意した。さらに、令和５年度には内水氾濫を想定した防災マップを作成、配布し、防災意識の高揚につなげた。	R５年度 876 R６年度 705	
	※鷺沼排水区雨水整備事業 【令和２～６年度】 柴田町と共同で鷺沼５号雨水調整池 27,000 m³の整備を進めた。 大河原町の事業として、鷺沼３号雨水調整池（稗田地区）の整備に向け、公共下水道事業計画（雨水）の変更や基本設計、用地取得を行い、整備に向け推進した。	R２年度 664,185 R３年度 280,622 R４年度 231,949 R５年度 562,968 R６年度 219,689	上下水道課
施策(5)：みやぎ県南中核病院を中心とした地域医療体制の充実 方向：医療体制の充実という町の強みを活かし、生涯安心して暮らすことができる環境づくりを推進する。 みやぎ県南中核病院や公立刈田総合病院、地域診療所との広域的な医療・保健福祉の連携を進める。	※みやぎ県南中核病院負担金事業 ※休日診療対策事業 ※仙南夜間初期急患センター事業 【令和２～６年度】 町民が安心して医療を受けられるようみやぎ県南中核病院の運営に要する経費を負担した。また、減収対策追加負担金を負担することにより、コロナ禍で悪化した病院経営を支えた。 休日（医科・歯科）夜間救急医療（内科・外科）の受診体制の確保を図るため、休日当番医制・病院群輪番制運営に要する経費を負担した。 仙南医療圏の平日夜間における軽症の急病者の応急的な診療を行うため、仙南夜間初期急患センターを運営した。また、コロナ禍においても発熱患者の受け入れを行い、医療を受けられる機会を確保した。	R２年度 631,423 R３年度 661,663 R４年度 653,226 R５年度 645,407 R６年度 658,019	健康推進課
施策(6)：地域包括ケアシステム構築と健康づくりの推進	※一般介護予防事業 【令和２～６年度】 新型コロナウイルス感染症拡大により実施できない時期もあった。	R２年度 10,310 R３年度 11,839 R４年度 11,735	福祉課

方向：高齢者や障がい者への医療・介護・予防等の一体的支援を提供する地域包括ケア体制を推進するとともに、自宅で暮らすための協力体制を確立する。 社会福祉協議会との連携をより深め、協議会の自主事業等を支援しながら、地域に根差した福祉活動の活性化を図る。 青年期健診の受診率向上、健康寿命の延伸施策の強化、生活習慣病の予防強化などの健康づくり施策を展開する。 健康維持や疾病予防に関わる情報発信と環境整備に努めつつ、自らの健康は自ら守る意識を高める。	① 高齢者の運動機会としてスポカフェを町内２カ所で実施した。 ・延参加者 R2：167人、R3：390人、R4：611人、R5：988人、R6：1716人 ② 介護予防サポーター（はつらつメイト）養成講座を開催した。 ・養成者 R2：0人、R3：4人、R4：7人、R5：5人、R6：25人 ③ 高齢者が介護予防に取り組む機会を作るため、一般介護予防事業（通所型個別方式）を町内6カ所の事業所に委託し実施した。 ・延参加者 R2：2,831人、R3：2,803人、R4：2,980人、R5：2,867人、R6：3,000人 ※自立支援給付事業 【令和2～6年度】 基本目標1に記載済み	R5年度 11,404 R6年度 12,588	
	※各種健康診査・がん検診事業 【令和6年度】 国の指針に基づき、がん検診に関する正しい知識の啓発を行い、がん検診を実施した。 健康増進法に基づき、町民の健康の増進のために、各種健康診査を行った。 ・乳がん検診受診率 人口比：15.3% 申込比：64.3%（1,367人） 内精密検査該当者 34人 ・大腸がん検診受診率 人口比：16.5% 申込比：57.5%（2,414人） 内精密検査該当者 163人 ・前立腺がん検診受診率 人口比：18.5% 申込比：62.1%（965人） 内精密検査該当者 53人 ・肺がん検診受診率 人口比：20.8% 申込比：69.9%（3,032人） 内精密検査該当者 80人 ・胃がん検診受診率 人口比：11.0% 申込比：51.7%（1,607人） 内精密検査該当者 92人 ・子宮がん検診受診率 人口比：15.5% 申込比：50.0%（1,552人） 内精密検査該当者 7人 ・青年期健康診査受診率 人口比：5.5% 申込比：44.3%（269人） ・骨粗鬆症検診受診率 人口比：19.1%（212人）	R2年度 37,473 R3年度 43,726 R4年度 41,630 R5年度 42,239 R6年度 43,115	健康推進課

	内要精密検査該当者 20 人 ・ 肝炎ウイルス検診受診者率 節目健診（対象者：40 歳の男女） 受診者 57 名、陽性者 0 名、発見率 0% 節目外健診（対象者：41 歳以上で過去において肝炎ウイルス検診を一度も受けたことのない男女） 受診者 190 名、陽性者 2 名、発見率 1.1% ・ 成人歯科健診受診率 人口比:9.6%（173 人） 内要精密検査該当者 105 人 ※健康相談・教育事業 【令和 2～6 年度】 町内医療機関にチラシを配布したことや Web 予約での申込を実施したことで、相談件数が増えた。 健康相談実施件数（延べ） R2：6 件、R3：2 件、R4：3 件、R5：17 件、R6：25 件 野菜摂取レベル測定や InBody 測定を行い、食習慣や生活習慣改善を図った。	R2 年度 67 R3 年度 164 R4 年度 293 R5 年度 335 R6 年度 408	
	※訪問指導事業 【令和 2～6 年度】 母子保健・健康増進・精神保健事業のほか、国民健康保険加入者や後期高齢者の保健事業と併せて実施した。 家庭訪問 R2：443 件、R3：464 件、R4：518 件、R5：454 件、R6：490 件 施設訪問 R2：109 件、R3：107 件、R4：122 件、R5：140 件、R6：147 件	R2 年度 449 R3 年度 418 R4 年度 446 R5 年度 442 R6 年度 537	
	※歩きたくなるまち推進事業 【令和 2～6 年度】 歩くことで健康増進を進める「歩きたくなるまち推進事業」については、令和 6 年度末歩いて健幸システム延べ参加者 840 人、おおがわらウォーキング倶楽部、筋力アップ教室、歩きたくなるまち通信発行、からだ成分分析測定会を実施。 アクセスポイント稼働率 53.5%（登録者 722 名中、アクセスポイント利用者 386 名） 令和 6 年度、実証実験として住友生命のアプリを利用した「Vitality おおがわらウォーク」を開催した。 参加者：152 人	R2 年度 1,836 R3 年度 1,597 R4 年度 1,563 R5 年度 1,711 R6 年度 1,499	健康推進課

	※各種健康診査（後期高齢） 【令和２～６年度】 後期高齢者健康診査 受診率 R2:51.5% R3:47.3% R4:54.2% R5:51.8% R6:54.8% 健診形態：個別健診 委託先：柴田郡医師会 実施期間については、例年6/1～8/31としていたところを被保者数の増加により6/1～9/30に期間を延長するなど対応した。 ※各種健康診査（国保） 【令和２～６年度】 ・国民健康保険特定健康診査受診率 R2:49.0% R3:50.0% R4:52.3% R5:52.3% R6:55.0% ・国民健康保険特定保健指導実施率 R2:52.5% R3:42.5% R4:31.3% R5:30.4% R6:42.3% 新型コロナウイルス感染症の影響により、集団健診の会場を保健センターから総合体育館へ変更し対応していましたが、感染症法上「５類感染症」に位置づけられたことから、令和６年度より、保健センターを会場とし実施した。	R2年度 13,250 R3年度 12,393 R4年度 14,446 R5年度 14,510 R6年度 15,908 R2年度 24,100 R3年度 23,761 R4年度 24,836 R5年度 26,186 R6年度 30,725	
施策(7)：公共施設・インフラ等の長寿命化と減災対策の推進 方向：長期的な視点から施設の需要等を予測し、計画的な老朽化対策や長寿命化対策を実施します。集会所については地区の将来人口や利用状況を見据えて、新設や改修を	※町道舗装補修等事業 ※河川管理関連事業 ※道路排水路改良事業 【令和２～６年度】 舗装・橋梁長寿命化計画及び個別計画に基づき、国庫補助事業を活用し、計画的に老朽化対策や長寿命化対策を行った。また、定期点検として樋管の点検を実施した。 舗装補修工事 R2:4,403m、R3:10,941m、R4:4,266m、R5:3,274m、R6:1,236m 橋梁定期点検 R2:43橋、R3:34橋、R4:長寿命化計画見直し106橋 R6:28橋 樋管・樋門点検 R4:11箇所 トンネル定期点検 R5:1箇所	R2年度 366,645 R3年度 375,352 R4年度 276,246 R5年度 234,620 R6年度 151,585	地域整備課

進めるとともに、地区による維持管理の体制づくりを進める。	道路側溝改良工事 R2:2,078m、R3:502m、R4:2,268m、R5:779m、R6:351m ※公共施設等総合管理事業 【令和2～6年度】 公共施設の長寿命化に向けた個別施設計画を策定、個別の計画を踏まえ全体の公共施設等総合管理計画の策定(R4)を行い、長期的な視点から公共施設の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うための見直し方針を立てた。	R2年度 3,184 R3年度 3,413 R4年度 9,933 R5年度 3,766 R6年度 7,300 (事業費には庁舎の改修費等が含まれている)	政策企画課
施策(8):安全・安心な水道の安定供給 方向:平時における安定した水の供給とともに、災害時でも安心な自己水源の確保を図る。	※取水・浄水事業 ※配水管布設替事業 【令和2～6年度】 老朽管の布設替を実施した。 R2:新桜町地区・東原町地区、R3:西桜町地区・東原町地区等・広瀬町地区、R4:東新町地区・橋本地区・東原町地区等、R5:南原町地区・小山田地区等・新寺加圧ポンプ場の更新、R6:緑町地区・小山田地区、南原前加圧ポンプ場の更新等	R2年度 128,000 R3年度 208,000 R4年度 183,000 R5年度 215,000 R6年度 206,000	上下水道課
施策(9):新型コロナウイルス感染症に係る対策と推進 方向:長期化する新型コロナウイルス感染症の影響に関し、住民の命と健康を守り、地域経済の持続等の施策を、新型コロナウイルス感染症対策本部を中心に全庁をあげて継続して対応します。	※新型コロナウイルス感染症対策関係事業 【令和2～6年度】 新型コロナウイルス感染症対策として、学校、児童福祉施設の消毒、ワクチン接種会場等への空間除菌機設置、職員のマスク及び検査キット購入により感染予防を進めた。 新型コロナウイルス感染陽性者及び濃厚接触者に対し、県からの支援物資到着までのつなぎとして町独自の食糧支援事業を実施した。 国の地方創生臨時交付金を活用し、事業者支援、生活者支援、感染予防等を進めた。 交付金 R2:4億5,197万円、R3:4億7,667万円、R4:2億4,657万円、R5:3億9,554万円、R6: 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として特別定額給付金の給付を行った。 R2:23,630人×10万円=23億6,300万円	(対策本部経費のみ) R2年度 15,459 R3年度 9,387 R4年度 8,809 R5年度 0 R6年度 0	総務課 政策企画課

	【令和2～6年度】 令和2年度から5年度までは予防接種法に基づき、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、接種を希望する生後6か月以上のかたを対象にワクチンの臨時接種を実施した。令和6年度から定期予防接種として実施した。 ○接種期間（R3.2.17～R6.3.31まで継続実施） ・接種対象 生後6か月以上の者 約23,660人 ・接種体制 集団接種（144回実施）、個別接種（町内9医療機関）、大規模接種、職域接種 ・12歳以上接種 86,611人（回） ・5歳から11歳接種 1,194人（回） ・6か月から4歳接種 190人（回） ○R6年度 ・実施期間 R6.10.1～R7.3.31 ・対象者 接種日において65歳以上の者、満60歳以上64歳の心臓、腎臓又は呼吸器等の障害を有する者 6,931人 ・接種体制 個別接種 ・接種者数 1,507人	R2年度 10,271 R3年度 135,045 R4年度 102,108 R5年度 69,859 R6年度 19,344	健康推進課
施策(10)：行政のデジタル化の推進 方向：感染防止を含めた住民の利便性向上に向け、行政手続の押印廃止、公的証明書のコンビニ交付、マイナンバーカードの普及促進などを進め、デジタル人材育成・確保を検討しながら自治体DX推進を目指します。	※行政デジタル化推進事業 【令和3～6年度】 ○社会保障・税番号制度推進事業 マイナンバーカードの普及率は令和5年度末で80.35%の交付となった。国のマイナンバーカード新規取得と健康保険証及び公金受取口座の登録促進のためのマイナポイント申請支援を令和5年9月末まで実施した。 ○行政デジタル化推進事業 マイナポータルからマイナンバーカードを用いてオンライン申請ができるよう庁内ネットワークの設定変更及び基幹系システムのシステム改修を行った。さらにマイナポータルで扱う手続き以外の申請等については、町独自に窓口オンラインシステムを導入しオンラインでの申請ができるようにしたほか、手続きガイドやおくやみ窓口などの導入により、住民サービスの利便性と業務効率化を図った。 ○産学官連携による地域活性化事業	R4年度 29,191 R5年度 34,362 R6年度 13,384	政策企画課

	地域の産業や観光の振興、デジタル技術を用いた地域課題解決や新しい住民サービスの創出のための産学官連携の検討を行った。令和４年度は桜まつり会場において、広域W i - f i やA I カメラの実証実験を行うため民間企業と連携協定を締結した。 ※諸証明コンビニ交付事業 【令和４～６年度】 令和５年１月２３日から、マイナンバーカードを利用した住民票、住民票記載事項証明、戸籍謄抄本、附票、印鑑証明、税証明のコンビニ交付を開始。 R４ 住民票・戸籍・印鑑証明関係:516 件、税証明:30 件 R５ 住民票・戸籍・印鑑証明関係:3,187 件、税証明:203 件 R６ 住民票・戸籍・印鑑証明関係:3,674 件、税証明:251 件	R４年度 23,875 R５年度 4,731 R６年度 4,795	町民生活課
--	---	--	-------

数値目標及び重要業績評価指標（ＫＰＩ）

数値目標		大雨対策により雨水整備率を２４％へ向上		令和６年度末実績値	19.9%	上下水道課
No.	重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値	令和６年度実績値		目標値（令和６年度）	担当課
１	自主防災組織の結成	４０ 行政区（令和元年度）	４０ 行政区		４３ 行政区	総務課
２	空家の数	１７７ 件（令和元年度）	１５６件		増加抑制	町民生活課
３	国保被保険者の特定健診受診率	５１.２％（平成 ３０ 年度）	５５.０％		６０％	健康推進課
４	歩いて健康システム登録者	６１３ 人	８４０ 人		１,０００ 人	健康推進課
５	健康寿命の数値	男 ８０.４８ 歳、女 ８５.１１ 歳 （令和元年）	—		維持	健康推進課
６	マイナンバーカード交付率	３４.３％（令和３年 ７ 月 １ 日）	８９.３％ （令和 ７ 年 ３ 月 ３ １ 日）		１００％	町民生活課
７	オンライン申請件数	—	—		２,０００ 件	全庁